

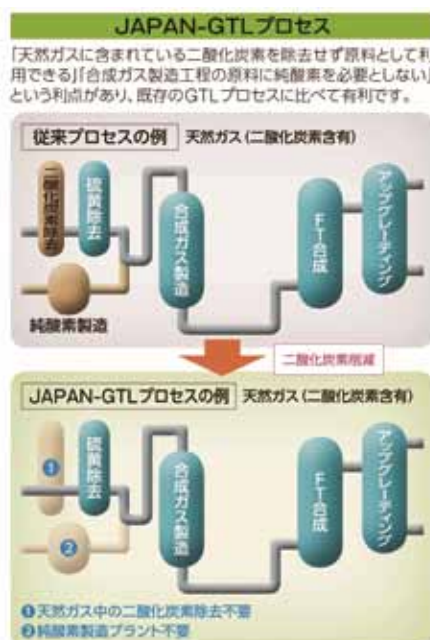
# 「日本エネルギー学会 学会賞(技術部門)」を受賞 「JAPAN-GTLプロセスの開発」を高く評価！

JX 日鉱日石エネルギー（株）を含む 7 社（1 団体+ 6 社）が開発に参加した「天然ガスの液体燃料化技術（JAPAN-GTL プロセス）の開発」が、日本エネルギー学会の平成 24 年度「学会賞（技術部門）」を受賞した。同賞は、エネルギーに関する技術分野において特に顕著な業績・成果を挙げた個人あるいは団体を選出し、表彰するものである。

GTL (Gas To Liquids) 技術は、常温では気体である天然ガスを原料に、硫黄分や芳香族分などを含まない環境に優しいクリーンな液体燃料を製造する技術で、石油代替燃料の確保とエネルギー多様化に資する技術として期待されている。

今回の受賞は、主要 3 プロセス（合成ガス製造プロセス、FT 合成プロセス、アップグレーディング（水素化処理）プロセス）すべてを国産の技術で開発したこと、日本企業の石油・天然ガス資源の権益確保と我が国のエネルギーセキュリティへの貢献が期待されること、天然ガスが含有する炭酸ガスを分離せずにそのまま原料として利用可能な世界初の技術であることが、高く評価されたものである。

（研究開発企画部 燃料技術・UCF グループ）



新潟に建設された 500 B/D の実証プラント



表彰を受けた各社の代表  
（前列左 1 人目が大澤シニアマネージャー）